

「21世紀COEプログラム」(平成14年度採択) 中間評価結果表

機 関 名	筑波大学	拠点番号	E02
申請分野	学際・複合・新領域		
拠点のプログラム名称 (英訳名)	健康・スポーツ科学研究の推進 (Promotion of health and sport scientific research)		
研究分野及びキーワード	〈研究分野:健康・スポーツ科学〉(スポーツ生理学)(生活習慣病)(運動処方と運動療法)(トレーニング科学) (運動とトレーニングの分子機構)		
専攻等名	人間総合科学研究科・体育科学専攻、スポーツ医学専攻		
事業推進担当者	(拠点リーダー) 西平 賀昭 教授 他 18名		

◇拠点形成の目的、必要性・重要性等：大学からの報告書（平成16年1月現在）を抜粋

<p><本拠点がカバーする学問分野について></p>	<p>本拠点は、体育科学及びスポーツ医学の連携プログラムで、基礎的研究分野から応用的研究分野、人文・社会科学から自然科学をカバーする総合性を特徴としており、体育哲学、スポーツ社会学、運動心理学、運動生理学、運動生化学、運動栄養学、スポーツバイオメカニクス、スポーツ医学、脳神経科学、体力学、トレーニング学、スポーツコーチ学といった広範な領域をカバーしている。</p>
<p><本拠点の特色及びその目的等></p>	<p>体育・スポーツ系と医学系を統合する拠点形成は、世界的にみても、上述のような広範かつ高度な研究能力を持ったスタッフを擁する筑波大学においてのみ可能である。1. 成長期における運動習慣の形成や学校教育における身体教育プログラムの開発、2. 来たるべき高齢社会において、高齢者の健康を促進するより効果の高いテーラーメイド運動処方プログラムの提示、3. 科学的根拠に基づく競技力向上システムの構築といった研究テーマは、いずれも社会的ニーズの高いもので、国民健康の基盤形成に寄与するとともに、身体教育、健康、スポーツといった世界的共有財に関する高度な情報発信を目指す。</p>
<p><COEを目指すユニーク性></p>	<p>本COEプログラムの第3研究プロジェクトに重なる研究機関としては、わが国の国立スポーツ科学センター、イギリスのBIS (British Institute of Sports)、オーストラリアのAIS (Australian Institute of Sports) などがあるが、いずれもオリンピック種目に特化したトップレベル競技者を対象とするもので、本COEプログラムのように、幼児から高齢者、一般人から高度競技者を対象とする広範かつ総合性を有するものではない。また、多くの高度な競技選手を擁する体育専門学群をもつという本学固有の条件は、研究成果を教育や指導に直ちに活用できるという大きな利点を有するもので、世界的にみても極めてユニークである。</p>
<p><本拠点のCOEとしての重要性・発展性></p>	<p>「健康・スポーツ科学研究の推進」という本COEプログラムの統括的課題は、高度産業化したわが国における国民全体の健康問題、スポーツの社会的認知や国際的な競技力向上といった実践的課題を担わんとするもので、多くの研究テーマが未開拓なままに残されたフロンティアへ挑むといった意義を有しており、発展性の度合いは極めて高い。体育科学とスポーツ医学が連携する各研究プロジェクトの推進は、健康・スポーツ科学領域の現状を質的に転換させ、今後の研究動向に重大な影響を及ぼすことになると予想される。</p>
<p><本プログラムの事業終了後に期待される研究・教育の成果></p>	<p>上述した成長期における運動習慣の形成や運動プログラムの開発、高齢者へのテーラーメイド運動処方プログラムの提示、科学的根拠に基づく競技力向上システムの構築といった研究の進展は、新たに多岐にわたる研究課題を創出することになる。それにより、1. 当該研究分野における国際的研究拠点としての地位を確保し、2. 国内における研究・教育拠点として全国に冠たる学位授与機関の役割を担い、3. 高度な専門的知識をもった新しいタイプの研究者や指導者の輩出により、社会的ステータスの更なる向上が期待できる。</p>
<p><背景となる当該研究分野の国内外の現状と動向、期待される研究成果と学術的・社会的意義、波及効果等></p>	<p>学校における体育プログラム研究、高齢者への運動必要性に関する研究、競技スポーツへの個別科学研究は内外において盛んであるが、幼児期から高齢期にわたる全ライフステージを視野に置いた学際的研究は試みられていない。また、競技力向上を目指す実践スポーツ科学の体系的構築もこれからの課題である。本COEプログラムは、体育科学とスポーツ医学の連携により、学際的・体系的研究の先行モデルとして、新しい研究パラダイムの提示や研究方法論の創出が期待でき、学術的および社会的意義は極めて大きい。</p>

機 関 名	筑波大学	拠点番号	E02
拠点のプログラム名称	健康・スポーツ科学研究の推進		

◇ 21世紀COEプログラム委員会における評価

(総括評価)

当初目的を達成するには、下記のコメントに留意し、一層の努力が必要と判断される。

(コメント)

運動機能研究に豊富な経験を持つ体育科学と、身体メカニズムの研究に成果をあげている医科学とスポーツ医学の3分野においては、それぞれいちおうの成果を出している。

今後は、これら3分野の融合を計画的に大いに強め、ライフスタイルに応じた健康維持のための運動プログラムの作成や、トップアスリート育成のためのトレーニングプログラムなどが、創生されることを強く期待するので、それに向かって大きい努力を払う必要がある。

また、このCOEプログラムの成果について、総合的学術論文はもちろん、社会への広報・還元について、今後一層の努力を重ねられることを強く要請する。